

# めぐりめぐり社会のすがた

元三重県男女共同参画推進懇話会会長

武村 洋子



男女共同参画という言葉が使われ始めたのはおよそ90年代に入ってからです。今はまだ正しく理解されることが少なく、さまざまな誤解されることが多いようです。

「男女共同参画」は家庭が多種多様な形を取ることを否定しませんし、何よりも家庭が大切だということをベースにしているのです。それなのに「男女共同参画は家庭を破壊する」と言う人がかなりいます。そう言う人の抱えている家庭像こそが問題なのですが。

性別を超えて一人ひとりが自立した個人としてその能力と個性を十分に発揮する。男女共同参画の理念。ためには、男が外で働き女が家庭を守るという従来の固定的役割分担意識はどうしても取り除いていく必要があります。ただここで重要なのは、否定されているのは固定的役割分担意識であって役割分担そのものではない、ということです。「女」は専業

主婦であるべきだという固定的な考えを否定しているのであって、個々の事例をとやかく言っているわけではありません。役割分担は社会にとっても家庭にとっても不可欠のもので、家庭のなかで話し合って妻が専業主婦と決めるのも自由ならば、「主夫」をするというのも不思議ではないでしょう。

どんな時代にもそれぞれ標準の家庭像がありました。例えば昭和30年代以降、成長路線をひた走りに走った時代には、企業戦士の夫と専業主婦の妻というのが、標準家庭の形でした。それが成長期の社会経済を支える最も効率的な形だったからでしょうし、それなりの意味もあったのでした。しかし今やその流れは行き詰まって、一人ひとりが、男性も女性も、能力と個性に応じて社会に貢献しなければ、危機が乗り越えられない大きな変革期

に入ったところです。

それでは近未来の男女共同参画社会の標準家庭像はどのようなものでしょうか。もはや標準はない、と云っていいほど多種多様でしょうけれど、強いて言えば、夫も妻もそれぞれが職業生活と家庭生活を両立させている家庭でしょうか。女性が、女であるという理由だけで社会的な仕事をしない女性がいることはなく、社会的な理由からではないのです。

こういう男女共同参画社会でも、妻が専業主婦であるという形はあって良いのですが、今と違うのは、その専業主婦が自分も社会にでて働きたいと思ったとき、そういう形に即切り替えられる成熟度の高い家庭であり、また社会もそうした女性の生き方に即対応できる成熟度の高い社会であるという点です。

そういう社会が成立するのは、もちろんそう簡単ではありませんし、実現も短期間では難しいでしょう。30年あるいは50年という長い時間を要するかもしれないのですが、それでも男女共同参画社会に向かって歩みだした私たちには、その動きを次の時代につなげていく大きな責任があると思われまます。

## フレンドレ劇場

DINKSで頑張る40代

子育てと自分探し真っ最中の30代

子どもの就学を控え、社会復帰準備を始めた20代

※DINKS…子どものいない共働き夫婦

ある日のオザワさん。

卒業生が集まって何やら話し込んでいます。ヨシダさんの「家族」レポート読んだ？

うん。なかなか面白かったね。

でも、「家族」っていうテーマ、難しかったと思うなあ。

ホントそう思う。家族の形って家族の数だけあるでしょ？他人があれこれ言えることでもないし。

そうそう。だからこれだけの話を聴いてくるのって、えらかったやろなあ。

でも、そもそも家族って何やろね。

私の夫が前にボツって言った一言があるん。

「一人の時は気楽やったなあ」って。

その気持ち、わかるなあ。でも理解できるから、すぐぐっしょりするね。

そうなのよ。それで、私その時「家族」であることが、お互いの足かせになつてはあかんなあ」って思ったん。

足かせ？それはまた、穏やかならぬ言葉やね(笑)。

そんな大層に受け取られると困るんやけど(笑)。要は、家族の誰かが、新しい生き方や仕事にチャレンジしようとしている時に、足を引っ張り合うんやなくて、「頑張り」って後押しできる関係ができればええなあ、と思うわけ。

なるほど。家族も「個」の集合なんやし、その「個」を大切にできたらええね。ヨシダくんが会ってきた家族も、それぞれが「自分らしく」生きることに努力していたと思う。それって素敵なことやないっ。

家族の中でも、男だから、女だからということやなくて、お互いの個性を認めあうことが大切やね。

そうそう、認め合うことやね。生き方や考え方が違つのは当たり前のことやもん。それと、家族の一人ひとりが個としてどう生きるかを考えながら、自分を表現するための努力が必要やと思う。

それがなかなか難しいんやけどね(笑)。何で難しいんやろ？

一つには家族の中の役割やないかな？いわゆる性別役割分業って言うのもあるし、親としての役割もあるやね。

年月と共に家族も変わるし、家族の中の役割も変わる。役割を生きないといけないこともある。だけど、それに固執してしまうとある日突然「人形の家」のノラみたいに爆発してしまいかねないかも。男女に限らずにね。男女の役割で思い出したんやけど、うちの娘が入院したときにお世話になった看護師

さんが、男性やったん。初めてやったから、実は私、驚いてしまつて…。

へえ。

ジェンダーに縛られている自分に気がついたんよ。でも小さい頃から「こういふ経験をしているから、娘はもっと違う育ち方してくれかな？」

家族の中でも同じことやね。

生まれた時から体験できることが理想やね。

(ヨシダくんがひょっこりやってきました。)

あつヨシダくん、こんにちは。今、皆できみの家族レポートの話をしてたところ。

こんにちは。この一年本当にたくさんの家族に会ってきました。楽しかったですよ。

それ以外に感想は？

伝えたいことはたくさんあるんですけど…。皆さん、とても真剣に家族について考えてくださいました。自分のことや家族のことについて話すのは照れくさいことやけど、ええ機会になったって思つてくださいました。

いい経験したね。

はい。「家族」って初め考えていたよりもはるかに難しくって頭を悩ますことも多かったですけど(笑)。家族って男女共同参画の原点かな、と思いました。

そうやね。

そして、僕たち一人ひとりが何が出来るかを考えて行動に移していくことが、男女共同参画につながるのではないのでしょうか？